

# 久美浜学園学校運営協議会だより

## 久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園学校運営協議会事務局(久美浜中学校内84-0079)

R2.7.10 No.1

### 第1回協議会を開催しました。

第1回協議会を7月2日に開催しました。委員の方20名、市教委・学校関係11名、計31名の方にお世話になりました。

本協議会の目的は、「学校・保護者・地域住民等が相互に密接に連携し、一体となって学校運営の改善及び地域の特色を生かした学校づくりを進め、乳幼児及び児童生徒の健全育成に取り組むこと。」としています。

第1回目は、会則を承認し、委員の互選により、協議会長、副会長を選出しました。その後、全体会、3部会で協議、意見交流を行いました。



学園長開会あいさつ、協議会の趣旨を説明



協議会長は活性化協議会から選出。議長をお世話になりました。



できるだけ間隔をあけて全体での会議

今年度から

### 保幼小中一貫教育 となりました。

保育や教育を一体としてとらえ、7つの園所、学校が緊密に連携、協働し進めるのが保幼小中一貫教育です。



今年度の学園の取組を説明しました。



副協議会長には区長会からお世話になりました。

協議の中で、学園の取組についていくつかの意見をいただきました。

- 5年間の成果の検証を詳しくしっかりしていくこと
  - 2学期からの行事等の運営を工夫すること
  - 不登校の現状と対応を明らかにすること
- 協議の後、学園、学校の基本方針の承認をいただきました。

### 3つの部会に分かれて交流をしました。

#### 地域活動部

各団体から、子どもに関わる取組を出していただき、交流しました。初回ですので、各団体の活動を詳しく説明していただきました。何年も続けておられる遊びの教室はすばらしいという声がありました。



- (区長)サロンの中で子どもたちやお母さんたちと交流。Uターン部会があり講演会や交流会を予定している。
- (活性化)子ども広場では遊び作りをし、縦割りの輪が広がっている。中学生の英語学習会は子どもを健全に育てる基盤づくりとなる。会としては運営費の補助をしている。
- (体育協会)久美浜はカヌー教室の支援をしている。市総体、久美浜湾一周駅伝は、今年度は中止となった。
- (文化協会)文化祭を実施。子どもの作品展示をする。大人と子どもが一緒に何かをして文化芸術を学べるとよい。
- (チャレンジ教室)学校週5日制になった18年前から続けている。土曜日に活動し子どもが期待しているので続けている。6月から始め、前は30人の参加があった。
- (土曜お楽しみ会)平成16年から続けている。子どもだけでなく保護者も参加できるようにしている。2週間前には学校と駐在さんに知らせ、学校に参加者を取りまとめている。夏のお泊り会には95名が参加した。

## 安心安全部

登下校の見守り活動をされている方、民生児童委員の方、市民局の方で、地域での子どもの安心安全について交流していただきました。



- ・(神野自治会)登下校のボランティアは、以前は任意でされていて見えにくかったので、自治会として組織的にした方がよいと考えた。今は、ボランティアに協力していただき、保険にも入り、緑色のジャケットを着てもらい、地域全体でやっている。朝の登校は毎日できているが、下校の見守りが難しい。
- ・(久美浜小見守り隊)30数名がおられ、毎朝の見守り活動をしている。にこにこカーの登録も10人している。夏に懇親会をしている。栃谷は国道が危ないため農道を通るが除雪が大変である。一区では、溝蓋の危ないところもあった。横断歩道はたくさんの方に立ってもらっている。後継者をつくりたい。
- ・(民生児童委員)昨年12月にたくさんの委員が変わった。3月から活動していなかったが、7月から見守り隊として活動を始めた。共通のジャケットを着て旗を持って活動している。今後、いろいろな機会で見守りをしていきたい。
- ・(市民局)通学路の危険なところのインフラの件、気付かれたらもちろん市(市民局)の方に上げてほしい。
- ・ずいぶん前に水曜日の早帰りの時、放課後の集まり会をしていて評判がよかった。休みが多いので水曜日や土曜日など、地域の方が中心となった子どもの受け皿の場があると親としてもありがたい。

## 学園評価部

学校評議員の方、園評議員の方、園保護者会の方で、学園、学校の取組について話し合ってもらいました。一貫教育そのものについての意見が出されました。



- ・一貫教育は5年を過ぎたが、どこができていてどこができていないのか、成果と課題をしっかりと明らかにして進めていくべきである。検証、評価をするとき、何ではかるのかははっきりさせないと次につながらない。
- ・学校の先生は仕事が多すぎだと思う。子どもの本当の姿が見えているのか。子どもの心が見えているのか。その時間が先生たちにあるのだろうか。子どもが基本なので子どもに向き合うことが大事である。
- ・1学期にできなかった行事を2学期に行うのなら、なおさら教員は忙しくなり、説明があったような学園の取組を入れるのは無理があるのではないか。
- ・学園の講演会はずっとSNSのテーマになっている。毎年新たな情報もありそれはそれでよいが、他の先生の話も聞きたい。
- ・園所、小中と参観や研修を一緒にして連携することができたが、今年はコロナの関係でできない。



中学校のあいさつ運動は、PTAの方、民生児童委員の方で実施



久美小見守り隊の方が音楽を鳴らしながら「にこにこカー」を運行